

第3次佐世保市食育推進実施プランの令和元年度達成状況について

令和元年度進捗状況概要

- 令和元年度の実施事業数 60事業
 - ※食育推進実施プランの掲載事業数 69事業
(事業の廃止や隔年実施などにより、実施プランの事業数より少ない)

○食育推進実施プラン全体の進捗状況について

- 実施した事業のうち48項目が、目標値の80%を達成(80.0%)
- 実施した事業のうち11項目が、目標値の80%を未達成(18.3%)
- 6/30時点で確認中の項目が、1項目

○令和元年度の食育推進実施プラン達成状況

数値目標達成区分	項目数		割合(%)	
100%以上	26	48	43.3	80
80%以上100%未満	22		36.7	
80%未満	11		18.3	
	59		98.3	

令和2年度実施事業概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響により事業規模を縮小・事業数 23事業(検討中も含む)

- 事業内容の変更などがあった事業数 3事業

1. 健康増進と健康管理に関する取組

(1) ライフステージにおける取組《乳児期・幼児期・学齢期》

○料理教室の開催による食育

R2.8.4	令和2年度	資料4
佐世保市食育推進会議		

R1実施の みのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
1 ※ [コロナ]	1	【重点課題セ】 離乳食講座と実習	幼児教育センター	・月齢や発育・発達状態に合わせた離乳食の段階や調理方法の指導、旬の食材を使った離乳食作りと試食体験 ・月齢や発育・発達状態に合わせた離乳食の確実なステップや調理方法の指導より、食事の基礎を作る。また、情報交換や相談の場の提供により安定した生活を図る。	参加者数	●開催回数10回+1回 ●内容: 5~6か月頃と7~8か月頃(各6回) 9~11か月頃、12~18か月頃の離乳食の講話と実習(各5回) ●開催場所: 中央保健福祉センター(10回) 幼児教育センター(1回) ●対象:妊産婦及び乳児保護者各20名(10回)、12名(1回)	●開催回数8回+1回 ●内容: 5~6か月頃と7~8か月頃(5回) 9~11か月頃、12~18か月頃の離乳食の講話とメニューの紹介(4回) ●開催場所: 中央保健福祉センター(8回) 幼児教育センター(1回) ●対象:妊産婦及び乳児保護者各10名(8回)、6名(1回)	200人	200人	100.0%	200人
2 ※ [コロナ]	新	父親向け食育講座	幼児教育センター	・父親向け食育講座の開催 ・乳幼児をもつ父親が食の大切さについて講話や実習を通して学ぶ機会とする。また、家族と一緒に試食することで、家族で食事をすることの良さ、楽しさを体験する。	参加者満足度	●開催日:9月6日 ●開催場所:幼児教育センター ●内容:講話・実習・試食 ●献立:炊き込みご飯他	●開催日:9月6日(日) ●定員:6名 ●開催場所:幼児教育センター ●内容:講話・実習・試食 ●献立:未定	100.0%	91.6%	91.6%	100.0%
3	2	【重点課題セ】 親子クッキング	人権男女共同参画	・身近な食材を利用しながら、栄養バランスの取れた料理を作る親子料理体験 ・親子での料理体験を通じ、家庭での男女平等教育、男女共同参画の推進、食育の推進を図る。	定員充足率	●開催日:①7月27日(土)②12月21日(土) ●開催場所:①②男女共同参画推進センター「スピカ」調理実習室 ●内容:①親子料理教室22人②パパと一緒に、わくわく親子クッキング12人	現在のところ、開催は未定	90.0%	77.2%	85.8%	90.0%
4 ※ [コロナ]	3	【重点課題セ】 親子クッキング	幼児教育センター	・幼児向けのおやつを作る親子料理体験 ・子料理体験をとおして親と子がふれあい、また、子どものころから「食」への関心を高める。	料理体験の満足度	●開催日 ①7月29日 ②7月30日 ●献立:酢豚・とうもろこしのスープ・白飯 ●開催場所:幼児教育センター ●対象:3歳~未就学児とその保護者 各10組	●開催日 ①8月18日 ②8月19日 ●献立:未定 ●開催場所:幼児教育センター ●対象:3歳~未就学児とその保護者 各6組	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
5 ※ [コロナ]	4	【重点課題セ】 幼児食調理講習会	幼児教育センター	・調理講習会の開催(子ども向けのメニューや、調理方法などを学ぶ) ・大人自らが食生活を見直し、食をとおして子育ての楽しさや大切さを感じとる。食を楽しむ機会をとおして子どもの「食育」について関心を高める。	調理講習会参加者の満足度	●開催日:①10月8日、10月9日 ② 2月4日、2月5日 ●献立:①②未定 ●開催場所:幼児教育センター ●対象:未就学児の子どもをもつ保護者、各10組	●開催日:①10月6日、10月7日 ②12月22日、12月23日 ●献立:①②未定 ●開催場所:幼児教育センター ●対象:未就学児の子どもをもつ保護者 各6組	100.0%	95.5%	95.5%	100.0%
6	5	啓発活動 ・水産教室など	水産課	・水産教室、お魚料理教室、漁業体験などの開催 ・体験などを通じてブルーツーリズムを推進するとともに、料理教室を通じて水産物の消費拡大、地産地消の推進を図る。	水産教室などへの参加者数	水産教室の開催 小中学校で栽培漁業、地元水産振興活動の紹介、種苗放流、さばき方教室の実施	水産教室の開催 小中学校で栽培漁業、地元水産振興活動の紹介、種苗放流、さばき方教室の実施	672人	935人	139.1%	672人

○相談、支援などによる食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	76	食に関する育児講座等	子ども育成課	・食に関する講話や調理実習、むし歯予防の講話 ・在宅親子に対して、食や口腔に関する正しい知識を普及する。	参加者数	○栄養士講話、わいわい広場で4回実施。 ○歯科講話、わいわい広場で4回実施。 ○食育講話のたんぼほの会については12回に変更、10か月歯科育相終了に伴い、歯科相談会を12回実施。 ○調理実習については、アレルギーや、調理環境の実態から、東部で実施。体験は、植える、収穫、食すなどを指す。 ・離乳食や食への関心を深め、望ましい食習慣を促す。	○栄養士講話、わいわい広場で4回実施。 ○歯科講話、わいわい広場で4回実施。 ○たんぼほの会の離乳食講話を12回、歯科相談会を12回実施。 ・離乳食や食への関心を深め、望ましい食習慣を促す。 ○調理実習については、アレルギーや、調理環境の実態から、東部で実施。植える、収穫、食すなどの体験は、各園わいわい広場にて実施。	1,000人	1,110人	111.0%	1,000人
	87	【重点課題】 食のリサイクル	廃棄物減量推進課	・生ごみを活用した元気野菜づくりの体験活動を実施するために「ごみ減量アドバイザー」を登録し、地域や学校などの講習会に指導者として派遣 ・自然の恵みに感謝し、自然の仕組みを知ることにより、食への関心を高めるとともに、「限りある資源を大切にする心」を育む。	派遣回数	生ごみを活用した土づくり・野菜づくりを通して「食品ロス」「食育」を含めて「食」の大切さを伝え、ごみの減量につなげることを目的としてごみ減量アドバイザーを派遣する。	生ごみを活用した土づくり・野菜づくりを通して「食品ロス」「食育」を含めて「食」の大切さを伝え、ごみの減量につなげることを目的としてごみ減量アドバイザーを派遣する。	5回	4回	80.0%	5回
9 ※ [コロナ]	8	食に関する相談 (子育てトークほっとタイム)	幼児教育センター	・子育て相談員を交えて保護者同士がおしゃべりを楽しむ中で、食に関する情報交換、相談を実施 ・食生活の不安を解消する。	参加者満足度	●開催日:10月7日 ●開催場所:幼児教育センター ●対象乳幼児の子どもをもつ母親 ●内容:手遊びや読み語りなど親子で楽しんだ後、母親は小グループに分かれ情報交換を行う。	●開催日:11月4日 ●開催場所:幼児教育センター ●対象乳幼児の子どもをもつ母親 ●内容:手遊びや読み語りなど親子で楽しんだ後、母親は小グループに分かれ情報交換を行う。	100.0%	96.3%	96.3%	100.0%
	1010	子育て講座・研修会	社会教育課	・小学校の入学説明会時に子育て講座を開催、PTAを対象とした各種研修会を実施 ・家庭が果たすべき役割や家庭教育の重要性を再確認し、家庭における教育力を充実させる。	「させぼ子育て講座」受講率	小学校入学説明会時に、保護者を対象とした「させぼ子育て講座」を開催予定。	小学校入学説明会時に、保護者を対象とした「させぼ子育て講座」を開催予定。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○健康診査時における食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	11	4カ月児健診	子ども保健課	・授乳時の母親の食事・母乳栄養・混合栄養・離乳食準備期から完了期についての指導 ・親子の心の安定の中で食を楽しみ心地よい生活を実現する。	健康診査受診率	授乳期の母親の食事・母乳栄養・混合栄養・離乳食準備期から完了期についての指導	授乳期の母親の食事・母乳栄養・混合栄養・離乳食準備期から完了期についての指導	100.0%	97.8%	97.8%	100.0%
	12	1歳6カ月児健康診査(歯科健診含む)	子ども保健課	・幼児食から普通食・間食についてや、嘔む習慣の定着についての指導 ・子どもが食を楽しみ、食に関心を持ち、生活リズムの確立を図る。	健康診査受診率	離乳食の完了期。幼児食・間食などの相談	離乳食の完了期。幼児食・間食などの相談	100.0%	95.2%	95.2%	100.0%
	13	3歳児健康診査(歯科健診含む)	子ども保健課	・食に関する相談、歯科健診の実施、正しい咀嚼についての指導 ・バランスの取れた食事や生活リズム、食事マナーなどについての認識、健全な口腔機能の維持を図る。	健康診査受診率	食に関する相談、歯科検診の実施	食に関する相談、歯科検診の実施	100.0%	93.1%	93.1%	100.0%
	14	学校における歯科健診	学校保健課	・学校歯科医による児童生徒の歯科健診を実施するもの ・児童生徒の健康管理・増進を図る。	12歳児の1人平均う歯数(DMFT指数)	学校歯科医により、各学校年1回～2回実施	学校歯科医により、各学校年1回～2回実施	0.90	0.61	147.5%	0.90

(2)ライフステージにおける取組《青年期》

○料理教室の開催による食育

	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
15 ※ [コロナ]	17	【重点課題ほ】 高校生への食育推進事業	健康づくり課	・家庭から自立する時期にある高校生を対象に食に関する啓発を行う ・家庭から自立する時期にある高校生に対し、健康的な食生活を実践するための支援を行う。	実施回数	高校文化祭に食生活改善推進員と連携したブースを出展し、高校生への食育の普及啓発を図る。併せて、文化祭を参観される保護者および地域の方へ向けた食育の普及啓発内容を盛り込む。参加型のブースにしたいと考える。	令和元年度と同様に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高校での文化祭が開催されるかも未定である。実施予定にしていた高校へ資料を配布する。	4回	4回	100.0%	4回
16 ※ [コロナ]	18	【重点課題ほ】 大学生への食育推進事業	健康づくり課	・大学生を対象に望ましい食生活の普及を行う。 ・大学生に対し、調理技術や望ましい食生活に関する知識を普及することで、将来の生活習慣病を予防する。	実施回数	公衆衛生臨床地実習のため、佐世保市に来る学生と、料理教室の企画・立案・実施・評価までを行う。 平成30年度長崎国際大学の学生対象としていたが、実習の実施に至らなかったため、対象は長崎国際大学の学生とする。	H30年度から、長崎国際大学・長崎県立大学佐世保校・長崎短期大学の3校を対象に3年間で1校ずつ実施予定だったが、H30年度実習の実施に至らなかったため、R元年度に長崎国際大学の学生を対象に実施した。R2年度がこの事業の最終年度となるため、県立大学佐世保校・長崎短期大学の学生を対象に、学校の近くの地区公民館で料理教室を実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の実施は中止する。	1回	1回	100.0%	1回

(3) ライフステージにおける取組《壮年期》

○料理教室の開催による食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
17 ※ [コロナ]	21	【重点課題セ】 いきいき元気食事づくり教室	健康づくり課	・いつまでも元気でいきいきと過ごすために、食を通して健康を維持し、介護予防についての理解を深めるための講話や実習を行う。 ・いつまでも元気で、活動的に暮らすために高齢者とその家族を支援する。	料理教室の参加者数	・開催回数:16回(うち、2回は男性初心者コース。各回3回コース) ・定員:各回20人 管理栄養士・保健師・歯科衛生士からの講話後、調理実習を実施。試食を行う。 (男性初心者コースは調理の基礎を中心にするため、管理栄養士の講話のみ。)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月～7月の前期教室3回(うち、1回は男性初心者コース。各回3回コース)を中止した。 10月からの後期教室8回(うち、1回は男性初心者コース。各回3回コース)の実施は定員を減らし、感染予防の対策を講じながら開催予定。 定員:各回20人(減らす予定) 管理栄養士・保健師・歯科衛生士からの講話後、調理実習を実施。試食を行う。 (男性初心者コースは着類の基礎を中心にするため、管理栄養士の講話のみ。)	960人	832人	86.7%	960人
18 ※ [コロナ]	22	【重点課題セ】 介護食づくり教室	健康づくり課	・要介護者の状態を維持しながら、食べる楽しみを得るための介護食を習得する料理教室の開催。 ・介護を必要とする人の食べる機能の段階に応じた介護食づくりを行い、介護に携わる人の調理技術と食に関する知識を向上させる。	料理教室の参加者数	・開催回数:10回(各回2回コース) ・定員:各回20人 歯科衛生士・管理栄養士の講話を実施後、調理実習を実施。試食を行う。	・開催回数:10回(各回2回コース) ・定員:各回15人(減らす予定) 歯科衛生士・管理栄養士の講話を実施後、調理実習を実施。試食を行う。 教室の開催は9月からとなる。定員を減らし、感染予防の対策を講じながら開催予定。	300人	303人	101.0%	300人

○相談、支援などによる食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
19	24	健康相談	健康づくり課	・生活習慣病に関する来所・電話相談、食生活を含めた運動や生活全般に対する指導助言 ・個別相談を行うことで、対象者の生活状況にあわせた具体的な指導を行い、生活習慣病を予防する。	相談者数	生活習慣病に関する来所・電話相談、食生活を含めた運動や生活全般に対する指導助言	生活習慣病に関する来所・電話相談、食生活を含めた運動や生活全般に対する指導助言	4,000人	3,817人	95.4%	4,000人
20	25	健康教育	健康づくり課	・食生活、運動、生活全般の指導助言、骨粗しょう症検診や歯科健診の指導 ・食の知識を深めることにより、健康への自覚を高め自分の健康管理を主体的に実践する。	健康教育の参加者数 R2から健康教育の実施回数 に変更	食生活、運動、生活全般の指導助言、骨粗しょう症検診や歯科健診の指導	食生活、運動、生活全般の指導助言、骨粗しょう症検診や歯科健診の指導	190回	209回	110.0%	192回

○健康診査時における食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	21	成人歯科健診	健康づくり課	・歯科医院での歯科健診、中央保健福祉センターでの歯科健診を実施。 食の基礎となる歯や口腔の健康維持、機能維持を促進する。 ・毎日の食生活の充実、「食べる楽しみ」を確保する。	委託歯科健診、所内歯科健診及び離島での歯科健診の受診者数	18歳(高校生を除く)以上を対象とし、市民の方へ受診勧奨をおこなう。なお、満40・50・60歳の節目の方には無料クーポン券を送付し受診強化を図る。また、国保対象の30歳から39歳までの若年者へは、ハガキ勧奨で成人歯科健診の受診勧奨の協力を得る。 令和元(H31)年度は下方修正し、目標値1,850人→1,350人となった。	18歳(高校生を除く)以上を対象とし、市民の方へ受診勧奨をおこなう。なお、満40・50・60歳の節目の方には無料クーポン券を送付し受診強化を図る。また、国保対象の30歳から39歳までの若年者へは、ハガキ勧奨で成人歯科健診の受診勧奨の協力を得る。	1850人 ↓ 1,350人	976人	72.3%	1,350人
22 ※ [コロナ]	27	【重点課題】 特定健康診査	医療保険課	・国民健康保険加入者の40～74歳を対象に内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した特定健康診査を実施。 また、健診後に管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを実施。 ・生活習慣病予防のために、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)やその予備群を的確に抽出し、該当者を特定保健指導につなげる。	受診率	受診率目標37.0% 特定健康診査等実施計画に基づく目標値	受診率目標37.5%	37.0%	34.3% (見込み)	92.7%	37.5%
23 ※ [コロナ]	28	【重点課題】 特定保健指導	医療保険課	・国民健康保険加入者の40～74歳を対象に内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目し、管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを、特定保健指導として実施する。 ・特定健康診査により抽出した糖尿病などの生活習慣病予備群に対して適切な保健指導を行い、対象者が生活改善を行うことで将来的な発症の抑制を目指すもの。	特定保健指導実施率(%)	実施率目標60%以上 特定健康診査等実施計画に基づく目標値	実施率目標60%以上	60%以上	59.0% (見込み)	98.3%	60.0%

(4) ライフステージにおける取組《高齢期》

○相談、支援などによる食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
24 ※ 事業内容変更	29	きらっと元気教室	長寿社会課	面談や運動プログラムを中心に実施し、セルフマネジメントの定着を目指す。口腔機能向上・栄養改善の健康教育も行う。 ・対象者に応じた個別のプログラムを設定し、各機能の向上を図ることにより、自分らしい生活の確立と自己実現を支援する。	きらっと元気教室に参加した高齢者のうち栄養改善の健康教育を実施した割合	生活機能が低下している者に対し、運動機能及び認知機能向上のプログラムを中心に、栄養改善、口腔の講話を各1回取り入れた内容を実施する。 初回訪問+12回通所、3か月1クールとし、最大6か月2クールまで利用可能	生活行為に支障があり、運動機能が低下している者に対し、面談や運動プログラムを中心に、栄養改善、口腔の講話を各1回取り入れた内容を実施する。令和2年度は、内容を変更したため、モデル事業として実施予定。 初回訪問+12回通所 モデル事業のため、3か月1クールの利用とする	100%	84.6%	84.6%	100.0%

○健康診査時における食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	25	新 8020認定証発行交付	健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の健康優良高齢者コンテストの廃止に伴い、佐世保市成人歯科健診受診をおこない、80歳で20本以上の自分の歯を有する者に対して「8020認定証」を発行交付を行う。 ・健康で楽しく食生活をおくるため、80歳以上になっても20本以上、自分の歯を保持する。 ※平成31(令和元)年度からの新規事業であり、「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」第7期実施計画において指標を認定証発行者数とし、目標値を20人とした。毎年目標値は見直していくこととしている。 	認定証発行者数	対象者:佐世保市成人歯科健診を受診をした80歳以上の方 健診実施時期:通年(委託歯科医院、所内歯科健診、離島健診含む) 認定証発行時期:7月、10月、1月、4月(年間4回) ※認定証は、佐世保市・佐世保市歯科医師会の連名で発行し、歯科医師会より郵送される。	対象者:佐世保市成人歯科健診を受診をした80歳以上の方 健診実施時期:通年(委託歯科医院、所内歯科健診、離島健診含む) 認定証発行時期:7月、10月、1月、4月(年間4回) ※認定証は、佐世保市・佐世保市歯科医師会の連名で発行し、歯科医師会より郵送される。	20人	18人	90%	90%

(5)ライフステージにおける取組《妊娠期》

○相談、支援などによる食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	26	31 【重点課題ほ】 母子健康手帳交付	子ども保健課	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付時に保健・栄養・歯科について小グループ指導を実施。 ・母性尊重の理念を高め、健康保持増進の意欲を図る。心身・出産に関する栄養の知識を普及する。 	栄養指導実施率	母子健康手帳交付時に栄養・保健・歯科についての指導を実施	母子健康手帳交付時に栄養・保健・歯科についての指導を実施。栄養相談は初産婦及びハイリスク者(BMI 25以上)へ実施している。	85%	82%	96.5%	85.0%
27 ※ [コロナ]	32	【重点課題ほ】 マタニティ学級	子ども保健課	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中から産後の食生活についての講話。食事バランスを整えることを重点内容とする。 ・健康の増進、生活の質の向上、バランスのとれた食生活による豊かな生活、家族で食卓を囲む楽しい食事の実践につながる。 	マタニティ学級受講率(産婦人科実施分含む)	講話だけでなく、簡単にできる野菜の1品料理や天然だしの味噌汁の試飲等行い、実演も含めた内容にし、即行動変容ができるような教室内容に努める。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～6月までの講座を中止した。 7月以降は定員を設け、講座の時間を短縮した上で、調理実習は行わず、講義形式にだしの試飲を加え開催する。	75%	67%	89.3%	50.0%

○健康診査時における食育

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	28	33 妊産婦歯科健診	健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医院での歯科健診、生活習慣病健診時の歯科健診を実施するとともに、妊娠中に必要な歯科保健指導や健康管理を実施。 ・毎日の食生活の充実、「食べる楽しみ」を確保する。また、歯科保健指導によって、妊娠中に必要な口腔管理を行う。 	受診者数	妊産婦については、18歳以上(高校生を除く)を対象とした佐世保市成人歯科健診を利用して、母子健康手帳交付時などで受診勧奨を行い歯科健診を勧めていく。 また、経産婦については、各母子健診の場を利用して受診勧奨の周知を行っていく。	妊産婦については、18歳以上(高校生を除く)を対象とした佐世保市成人歯科健診を利用して、母子健康手帳交付時などで受診勧奨を行い歯科健診を勧めていく。 また、経産婦については、各母子健診の場を利用して受診勧奨の周知を行っていく。	250人	240人	96.0%	250人

2. 食育への意識高揚

(1) 継続的な食育推進運動における情報提供及び健康づくりへの意識の普及や啓発事業

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	29	34 【重点課題さ・ほ】 食育意識啓発、普及	健康づくり課	・ライフステージに応じ、市民の望ましい食生活に向けた食育に関する出前講座や、食に関するイベントを行う団体と連携し、イベントで食育に関するブースを設け普及・啓発を行う。また家族そろっての食事(共食)は食育の原点であることから、月に1度は家族そろって食事する機会を持つよう啓発を行う。 ・食育に関心を持ち、実践する市民の増加を図る。	イベント及び講座参加者数	ライフステージに応じて市民の望ましい食生活の実践に向けた食育に関する展示・掲示媒体の充実。各種団体と連携し、イベント等で食に関するブースを設け、普及・啓発を行う。(各種イベントでの普及・啓発や出前講座、各種教室・研修会の実施等) R元年度は、依頼講話がH30年度より回数が多く、1回あたりの人数も多かったため、目標を上回る実績となった。	ライフステージに応じて市民の望ましい食生活の実践に向けた食育に関する展示・掲示媒体の充実。各種団体と連携し、イベント等で食に関するブースを設け、普及・啓発を行う。(各種イベントでの普及・啓発や出前講座、各種教室・研修会の実施等)	2,000人	2,741人	137.1%	2,000人
30 ※ [コロナ]	35	ヘルシークッキングコンテスト [家族そろっての食事推進]	健康づくり課	・望ましい食習慣を身につけるために、簡単に作ることができるメニューを募集し、募集した作品のレシピの配布等を行い、周知・啓発をはかる。 ・啓発をとおして、各家庭での基本的な食習慣(家族そろっての食事や朝ごはんを食べる)を見直す機会を図る。	応募作品数	・テーマ:野菜たっぷり彩り弁当 ・子どもの部、中・高校生の部、おとな(幼児向け)の部、おとな(おとな向け)の部の4部門に分けて募集。 ・1次、2次、最終審査を経て、各賞を選定する。	新型コロナウイルス感染症の終息が不透明であるため、R2年度のヘルシークッキングコンテストでの作品の募集、審査は中止する。	1,500点	1,027点	68.5%	1,500点
31 ※ [コロナ]	36	デンタルフェスティバル	健康づくり課	・毎年6月の「歯の衛生週間」に開催、「食生活コーナー」を設置して、おやつなどの砂糖含有量について指導を実施 ・啓発をとおして食の楽しみ、歯と口の健康維持、むし歯予防を図る。 ・平成31(令和元)年度から目標値を3,000人へ上方修正。佐世保市歯科医師会を中心とした関係参加団体の「デンタルフェスティバル関係団体合同協議会」において毎年報告される参加者実績より設定。	参加者数	実施日:令和元年6月2日(日) 実施時間:11時から15時 開催場所:中央公民館 ・1階講堂でイベントの各ブース出しを業約する(歯科医師会、歯科衛生士会、看護協会コーナー)、その他の団体は各講座室を利用 ・図画ポスター表彰式(歯科医師会館3階)	例年、6月第1日曜日に中央公民館においてイベントを開催し多くの市民が来場していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった。図画ポスター展についても毎年、島瀬美術センターにて展示を実施していたが中止となり、表彰式も執り行わない。	3,000人	4,807人	160.2%	3,000人
	32	37 【重点課題さ・ほ】 健康づくり応援の店推進事業	健康づくり課	・健康に配慮した登録店舗を増やすことで、望ましい食環境の整備に努める ・食や禁煙など健康に配慮した取組を行う店舗をとおして、食環境整備を進めるとともに、市民の食生活に対する関心を高め、適切な食選択の実践につなげる	登録店舗数	健康に配慮した登録店舗を増やすことで、望ましい食環境の整備を行う。登録店舗数を増やすために「食品衛生責任者講習会」でPRを行う。併せて、健康づくり応援の店であることをPRするため、のぼり旗(小)を作成し、店舗の目立つところに設置する予定。	R2年度から、県国保・健康増進課に事業を引き継ぐ。 R2年度から、健康づくり応援の店の登録基準が変更となる。現在の健康づくり応援の店に変更後の登録基準でも引き続き登録されるかの確認作業を行う。 佐世保市独自の取り組みとして、健康寿命延伸推進協議会と連携した食環境整備を行っていく。	90店舗	72店舗	80.0%	92店舗
	33	38 食に関する講座による情報提供	社会教育課	・各地区公民館が主催する市民向け講座に、食育のメニューを盛り込んで実施 ・市民が食育に関して理解を深めるとともに、幅広い知識を持ち、実践するようになる。	参加者数	料理教室をはじめ、食生活に関する情報提供により参加者の健康づくりや生きがいづくりとすることを目的とする。	料理教室をはじめ、食生活に関する情報提供により参加者の健康づくりや生きがいづくりとすることを目的とする。	2,300人	2,294人	99.7%	2,300人

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
34	39	まちづくり出前講座	社会教育課	・市職員が講師となって市民向け研修・講習・説明を行う「出前講座」を開催し、食育に関する情報を提供 ・市民が食育に関して理解を深めるとともに、幅広い知識を持ち、実践できるようになる。	受講団体数	市役所(及び関係機関)の業務をメニューとして取り揃え、市職員が講師として市内の学習グループ等に対して説明を行う。本年度も食育に関する講座は7講座あり、20回の実施を目標としている。	市役所(及び関係機関)の業務をメニューとして取り揃え、市職員が講師として市内の学習グループ等に対して説明を行う。本年度も食育に関する講座は7講座あり、25回の実施を目標としている。	20団体	15団体	75.0%	25団体
35	40	【重点課題さ・ぼ】 市民への望ましい食習慣に関する情報提供の充実	健康づくり課	・市民が見つつけやすい場所で望ましい食習慣に関する情報を掲示等で見せることにより望ましい食習慣への行動変容へとつなげる ・市民が望ましい食習慣を実施できるよう、行動変容が期待できる場所での周知を図る	普及啓発事業実施回数	・給食施設の給食担当者向け研修会(食育実践者ネットワーク会議・調理従事者等研修会) ・食育実践者研修会 ・市民向けの食育普及啓発(連絡通路での情報提供6月・9月) ・第3次佐世保市食育推進計画概要版を中学3年生・高校3年生、市内の大学専門学校などの最高学年の生徒・学生に配布した。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会は中止するかもしれない。 ・市民向けの食育普及啓発(連絡通路での情報提供6月・9月) ・第3次佐世保市食育推進計画概要版を対象を絞って配布し、食育を普及・啓発していく。	7回	8回	114.3%	7回

3. 食育の取組支援

(1)教育及び保育機関などの取組支援

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
36	41	調理師研修会	健康づくり課	・特定給食施設などの調理師及び調理員に対して、給食管理、衛生管理に関する知識や技術向上のための情報提供 ・調理師及び調理員の資質の向上を図る。	参加施設割合	10月23・24・25日の3日間、対象施設を分け、対象施設毎にテーマを分けて実施予定。 例年別々に行っていた、食品衛生講習会と共同で開催する予定。	9月末から10月に実施予定 対象施設を分け、対象施設毎にテーマを分けて実施予定。 新型コロナウイルス感染症の影響で実施困難となるかもしれない。 研修会の開催が困難な場合は、給食施設向けの資料を作成し、ホームページに掲載する。中止の通知及び資料のホームページへの掲載を対象施設にハガキで通知する。	80.0%	82.0%	102.5%	80.0%
37	43	児童生徒の食育指導	学校保健課	・特別活動や給食時間、総合的な学習などを利用した児童生徒の体験学習を実施 ・体験をとおして、児童生徒が健康的な食生活のあり方や望ましい食習慣を身につける。	小・中学校における体験活動をととした食育実施率	食育指導全体計画の作成	食育指導全体計画の作成	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
38	45	子ども期歯科保健研修会	学校保健課	・学校での歯科健康診断、歯科保健教育、むし歯や歯周疾患の積極的な予防のための研修会を開催。 ・市歯科医師会の協力のもと、本研修会を開催している。よい歯の学校(園)の表彰や、講演会の開催により、歯科保健の充実に寄与している。	研修会参加人数	実践発表「自ら健康的な生活習慣を実践できる生徒の育成をめざして」～保健体育委員会を中心とした歯科保健活動を通して～ 佐世保市立山澄中学校 教諭 川邊知子 講演「噛む力」は生きる力 マスダ小児矯正歯科医院院長 増田純一	実践発表 市内学校から1校 講演 市歯科医師会を通じて検討中	380人	287人	75.5%	380人

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	39	46 放課後子ども教室	社会教育課	・地域の大人の協力を得ながら、献立作成、買い物、調理をはじめ、さまざまな生活体験を積む「通学合宿」の支援 ・食に対する子どもたちの関心を高め、規則正しい生活によって、基本的な生活習慣の定着を図る。	通学合宿実施回数	市内5か所、最短2泊3日で実施予定。子ども達の集団生活を地域住民が支援し、協働する活動。	市内5か所、最短2泊3日で実施予定。子ども達の集団生活を地域住民が支援し、協働する活動。	7回	4回	57.1%	8回

(2)教育及び保育機関などにおける食事の提供及び給食の質の向上

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
40※ [コロナ]	47	調理担当者の実技研修	幼児教育センター	・調理担当者に、給食やおやつの実技研修を実施 ・保育施設において、不足しがちな栄養素を含む給食献立を取り上げ、子どもの発達に必要な栄養の取り方を学び、食事の提供を望ましい食習慣としつづけが実践できる人材を育成する。	参加者数	●開催回数:3回 ●開催場所:中央保健福祉センター ●対象:保育所等の調理担当者 ●内容:テーマ「食物アレルギーへの対応」講話と実習	●開催回数:3回 ●開催場所:中央保健福祉センター ●対象:保育所等の調理担当者 ●内容:未定・講話と実習	90人	59人	65.6%	90人
	41	48 保育所給食施設指導	健康づくり課	・特定給食施設などの設置者に対し、栄養管理のための指導、助言、支援 ・各施設での効果的な業務の実施と施設間の格差を無くす。	指導施設率	・子ども育成課主催の説明会にて、提出する書類や記入方法について説明を行い、施設内で共通認識を持っていただくよう促した。 ・毎年5月・10月に保育所給食施設より検討表の提出。検討表から栄養量の過不足等のある施設に対し、支援・助言を行っていく予定。	・毎年5月・10月に保育所給食施設より検討表の提出がある。検討表から栄養量の過不足等のある施設に対し、支援・助言を行っていく。	50.0%	56.2%	112.4%	45.0%

(3)学校給食の充実

No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
42	50 学校給食を通じた家庭・地域への啓発	学校保健課	・新メニュー調理実習・衛生管理研修会・学校給食の試食会・ふれあい給食会・「食育」の講話等の実施。 ・児童生徒が安全でおいしく給食を食べ、食に関する正しい理解を深める。	学校給食試食会実施率	学校給食試食会を保護者・地域の方・地域の園児等とともに実施した。	学校給食試食会を保護者・地域の方・地域の園児等とともに実施する。	98.0%	100.0%	102.0%	98.0%
43	51 中学校給食の実施	学校保健課	・中学校給食の完全実施 ・中学生の食育の充実	完全給食実施率(学校数)	平成25年9月より中学校給食の完全実施	平成25年9月より中学校給食の完全実施	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4)食の担い手(ボランティア)活動者などの資質の向上

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
44※ [コロナ]	52	乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講習会	幼児教育センター	乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講座の開催	参加者数 (平成27年度)参加者満足度(平成28年度~)	●開催日:9月5日 1回 ●開催場所:中央保健福祉センター ●内容:乳幼児期の食の大切さについて	●開催日:未定 1回 ●開催場所:中央保健福祉センター ●内容:授乳・離乳の支援ガイド(2019改定版)-要点と離乳食の指導への活かし方	100%	100%	100.0%	100.0%

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
	45	追 乳幼児食育アドバイザー養成講座	幼児教育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児食育アドバイザー養成講座の開催 ・食の大切さや乳幼児からの食育の必要性を、家庭や離乳食講座等で発信していくことができる担い手として、人材育成をする。 	参加者満足度	<ul style="list-style-type: none"> ●開催回数：5回 ●開催場所：中央保健福祉センター ●対象：食育に関心のある一般市民 ●内容：①乳幼児期の食の大切さについて②食と心の育ちの関係について③歯と口腔の健康について④離乳食の基礎と実習⑤食物アレルギーについて 	●次回は令和4年度開催予定	100%	98.3%	98.3%	—
R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
46 ※ [コロナ]	53	【重点課題セ】 食生活改善推進員研修会	健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員の研修 ・知識の習得・会員間の交流により、会員の資質向上と市民への対応力の向上を図る。 	研修会参加会員の延べ人数	<ul style="list-style-type: none"> ・開催地区：9地区×8回 ・調理実習は各地区4回 ・フォローアップ研修を2回：1・3年目、男性へ行う。 	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～6月までの研修会を中止した。 7月以降の研修会調理実習は行わず、講義形式の研修会の方法について検討し、実施していく。 7月以降研修会予定 ・開催地区：9地区×4回 ・調理実習は各地区2回 ・フォローアップ研修を2回：1・3年目、男性へ行う。	1,150人	1,060人	92.2%	1,250人
47 ※ [コロナ]	54	【重点課題セ】 食生活改善推進員養成講座	健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員になるための養成講座の開催 ・健康づくりの協力者を育成し、地域住民への食育推進を図る。 	参加人員	<ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：8月～11月(全8日間) ※宇久：6月～11月(全10日間) ・養成講座カリキュラムに基づき、講話・調理実習・運動実習・講演会を実施 ・概ね20時間の受講を修了した者に修了証を交付予定。 	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食生活改善推進員研修会の実施も不透明であるため、R2年度は実施しない。	30人	15人	50.0%	30人
48	55	食育実践者ネットワーク会議	健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の老人福祉施設、保育施設など、保健・医療・福祉分野の業務に携わっている管理栄養士・栄養士が一堂に会し、栄養指導の方法や食事の提供状況について情報交換を行う。 ・地域で食生活支援を必要とする市民へ、統一性のある継続した栄養相談の実施についての充実を図る。 	参加者数	令和元年8月8日(木) テーマ：「肥満者への食事支援」 講演・事例発表、グループワークを行う。 令和元年度は、年1回の開催予定	R3.2月に実施予定 テーマ：災害時の給食施設の心構え他 R2年度も年1回の開催予定だが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する。	200人	144人	72.0%	200人
49	56	食育実践者研修会	健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・食育推進の役割を担う人材(食育実践者)に対し、資質向上のために研修会を実施する。また、活躍の機会を増加させるなど支援体制を整える。 ・健康づくりの協力者を育成し、地域住民への食育推進を図る。 	参加者数	令和元年11月19日(火) 情報提供：調味料の塩分の比較 講演：「だしと減塩」のテーマでだしソムリエStyle認定講師に講話を依頼した。だしと減塩の関係について理解を深める内容で実施できた。	R2年11月18日(水) 中央公民館 長崎の郷土料理と食品添加物について講演会を実施する予定。 新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する。	120人	105人	87.5%	120人

4. 農林漁業を中心とした各種体験活動の促進と支援

(1) 子どもと保護者を対象とした体験活動

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
50 ※ 目標値変更	57	農業体験	農業畜産課	・貸農園形式により農業体験を実施。 ・体験活動により食への関心を高め、心身の健康増進を図る。	体験者数	各種体験活動による支援を実施する。市民農園利用者57名、JA青年部が実施する食農教育活動参加者764名	各種体験活動による支援を実施する。市民農園利用者56名 ※JA青年部が実施する食育教育活動については、市の補助を活用し実施されていたが、実施主体の組織再編に伴い、事業が終了したため、令和2年度以降の目標値を市民農園利用者数のみに変更する。	750人	814人	108.5%	56人
51 ※ [コロナ]	58	卸売市場の見学及び体験学習	卸売市場管理事務	・卸売市場の見学及び青果物などの体験学習 ・卸売市場の見学及び体験学習をとおして、市場の役割や食への理解を深めるとともに、青果物・水産物等の消費拡大に資する。	見学者数	青果・花き・水産市場において見学希望の申込みに対し、市場見学を実施予定。	青果・花き・水産市場において見学希望の申込みに対し、市場見学を実施予定。 (コロナ感染対策のため市場見学の受け入れを断っており、目標未達成可能性大)	900人	916人	101.8%	900人

(2) 地産地消の推進

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
52 ※ 目標値変更	60	産地化・ブランド化育成事業	農業畜産課	・佐世保市産農産物(推進品目)の生産面積拡大 ・佐世保市産農産物の産地化を図る	佐世保市産農産物(推進品目)の生産面積	産地化・高品質化ジャンプアップ事業において、本市の重点品目である「いちご、菊」の支援を行う。	令和2年度から、「産地活性化支援事業」において、本市の重点品目である「いちご、菊、アスチルベ」の支援を行う。	13.0ha	13.0ha	100.0%	15.0ha
53	62	水産物消費拡大	水産課	・水産物の県外・市外販売促進イベント開催への助成 ・地域水産物の広域的なPR活動により消費拡大・販路拡大を図る。	イベント参加者数	水産加工品PR・販売イベントの開催経費に対する支援	水産加工品PR・販売イベントの開催経費に対する支援	25,000人	18,000人	72.0%	25,000人
54 ※ [コロナ]	63	お魚まつり	卸売市場管理事務	・魚食普及、地産地消の推進を目的としたイベントの開催 ・水揚げされる新鮮な地元食材の提供と消費者への魚食普及を図る。	お魚まつり入場者数	水産市場において、お魚まつりを開催予定。 鮮魚・水産加工品の販売、販売促進PR、小学生を対象としたお魚の絵コンテスト等の魚食普及活動を実施予定。	水産市場において、お魚まつりを開催予定。 鮮魚・水産加工品の販売、販売促進PR、小学生を対象としたお魚の絵コンテスト等の魚食普及活動を実施予定。(コロナ感染対策のためお魚まつりの開催中止の可能性あり)	40,000人	28,000人	70.0%	40,000人

(3) 共生と対流促進

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
55	64	生産者と消費者の交流促進	観光課	・食など地域の特性を活かした滞在コンテンツの整備など観光地域づくりの取り組みを行う。 ・都市住民及び来訪者の体験ツアーを実施し、生産者と消費者の交流促進を図る。	商品化ツアー・体験プログラム参加者数	平成25年4月に認定された「海風の国」佐世保・小値賀観光圏において観光地域づくりの事業を実施。地元食材を使ったメニューを提供している飲食店を中心に賛同店を募り、街の一体感、事業者の意識向上を図る取り組みを実施。		190,960人	273,675人	143.3%	
		生産者と消費者の交流促進	観光課	・食など地域の特性を活かした滞在コンテンツの整備など観光地域づくりの取り組みを行う。 ・都市住民及び来訪者の体験ツアーを実施し、生産者と消費者の交流促進を図る。	商品化ツアー・体験プログラム参加者数		「海風の国」佐世保・小値賀観光圏において観光地域づくりの事業を実施。地元食材を使ったメニューを提供している飲食店を中心に賛同店を募り、地域ならではの「食」を企画・検討する。	956人	676人	70.7%	985人
56	65	ブルーーツーリズム*の推進	水産課	・観光資源を活用した地域振興策の実行 ・観光資源を活用し、漁村の活性化や食と漁業への理解を深める。	離島地区における漁獲量	ウニ割り体験などの体験メニューの提供	ウニ割り体験などの体験メニューの提供	1,505t	確認中	0%	1,505t

5. 食の安全・安心や食生活に関する調査の取組推進

(1) 食品の安全性に関する情報提供・意見交換

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
57 ※ [コロナ]	66・67	食のリスクコミュニケーション事業	生活衛生課	・食品関係情報の提供と意見交換(リスクコミュニケーション)の推進 ・衛生意識の向上による安全な食品の提供と食品事故を未然に防止する。	意見交換会開催回数	①食品衛生指導員を対象としたHACCP推進のためのリスクコミュニケーション ②大学生を対象とした食のリスクコミュニケーション「学園祭での食中毒予防」の実施 ③小学校での食中毒予防に関するリスクコミュニケーションの実施	新型コロナウイルス感染症の影響で、現在検討中です。	2回	3回	150.0%	2回

(2) 食品の衛生管理

R1実施のみのNo.	No.	事業項目	担当課	事業内容・目的	指標式名	令和元年度実施内容	令和2年度実施内容(予定)	目標値	実績値	目標達成度	令和2年度目標値
58	追	家畜保健衛生対策	農業畜産課	・家畜の疾病、事故が減少することを目的として、農業団体が行う事業に対して補助金を交付 ・家畜の疾病、事故等を未然に防ぎ、安全な食品を提供する。	子牛出荷時におけるワクチン接種率	疾病予防対策事業、牛舎衛生対策事業、寄生虫対策事業に対し補助金を交付	疾病予防対策事業、牛舎衛生対策事業、寄生虫対策事業に対し補助金を交付	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
59 ※ [コロナ]	68	衛生講習会	生活衛生課	・営業者、営業所従事者及び消費者に対する衛生講習会の開催、パンフレットの配布、苦情相談の窓口開設 ・食品の安全性に関する基礎的な知識を習得する。	食品衛生講習会実績	市民、食品営業者向けに食品衛生講習会を実施。市民、食品営業者向けに食品衛生講習会を実施。	新型コロナウイルス感染症の影響で、現在検討中です。	60回	43回	71.7%	60回
60 ※ [コロナ]	69	と畜場見学、検査体験	食肉衛生検査所	・お肉ができるまでの過程の見学や食肉検査の学習・体験 ・生きた動物がお肉となって食卓にのぼるまでの様々な過程について理解を深めることで、食に関する感謝の気持ちを育むとともに、消費者の安全・安心な食生活環境づくりを推進する。	参加者満足度	食肉の生産・検査・流通の過程を学ぶ見学会及び体験学習イベントを開催。 ①親子参加型見学会「体験！お肉ができるまで～と畜場見学会～」(小学5～6年生と保護者対象)。②中学生向け体験学習「体験！お肉の検査員～獣医師のお仕事～」(中学生対象)	イベント開催中止(新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため)	95.0%	100.0%	105.3%	95.0%